

社会情報学専攻（出題意図）

現代社会における哲学的諸問題

出題意図：

現代社会における哲学的問題を扱う代表的分野である倫理学と認識論のいずれかの分野について、その分野内の問題を正確に理解しているかどうか、その問題についての自分の考えを論理的に述べることができるかを問う問題です。

単に哲学的問題について記述し、既存の解決案をまとめるだけでなく、ある解決案を支持したり、批判したりする自分の根拠を述べ、論理的に回答を書くことが求められます。

哲学基礎

出題意図：哲学の諸分野における基本的用語について説明してもらうことで、それらの分野の基礎的理解を問う問題です。

言語哲学、倫理学、認識論、美学などの哲学の諸分野の基礎的用語を正確に理解し、それを過不足なく説明できることが求められます。

社会情報学の諸問題

出題意図

問 1

[出題意図] インターネットの利用が進むにつれ、社会も大きく変わっている。その状況を踏まえ、キーワードを用いて説明させることで、社会情報に関する基本的な理解、表現力を受験者が備えているかを問う。加えて、今後のネット社会への見通し、あり方をどのように考えているかを、エリートへの要望だけでなく、自らの視点で記せるかなどの発想力を問う。

問 2

[出題意図]

(1) (2) とともに、最新の政府施策および法令に対してデジタル技術がどのように関連するかについて、正しく理解しかつ具体的な推進方法や新たな構想を考案できるかを問う。

問3

[出題意図]

AI に代表されるテクノロジーの進展はすさまじく、それにどう対応していくかは社会全体が考えるべき問題である。ここではそうした新しいテクノロジーに対するアートからの働きかけとしてのメディア・アートを題材に、受験生がどの程度こうした問題について意識的に学習しているか、またそのうえで自分自身の考えをもつことができているかを問うことを意図している。

環境考古学

＜出題意図＞環境考古学でよく扱われる遺跡についての理解と出土資料の中でも貝類についての理解を評価する。

文化財科学

＜出題意図＞出土動物骨の分析方法のうち、よく使用されるものの 1 つについての理解を評価する。

情報社会システム

(1) 出題意図：

近年の ICT/デジタル活用が進む各分野において、各用語についての正しい知識と理解を有しているかを問う。

(2) 出題意図：

地域が直面する社会課題に対し、生成 AI 等の先端技術を活用してどのように具体的な解決策を提案できるかを考察する力を問う。また、行政のガイドライン等に基づいた実践的な利活用の視点を身につけているかを評価することを目的としている。

メディア・コミュニケーション研究

出題意図：メディア・コミュニケーションに関する重要概念・モデル（コミュニケーションの二段階の流れモデル、メディア・フレーム、ニュースバリュー）に関する理解度を確認するとともに、それを今日の事例に(批判的に)適用する論理力を問う。

国際関係論

出題意図：(1)国際的なメディア・コミュニケーションに関する重要概念（フェイクニュース）について、具体的にどんな事例において、いかなる影響を及ぼしているか、さらに、それに対して、どのような対応がなされているかの、現状理解を説明する能力を確認する。

出題意図(2)：国際的なメディア・コミュニケーションに関する重要概念（プロパガンダ）について、主要メディア（ラジオ）が、いかにかかわっているか、歴史的に論じられる知識および説明力を確認する。

出題意図(3)：各国における行政と市民の関係は、その国のガバナンス状態を知るのに有益な視点である。本問は、ストリートレベルの官僚制（street-level bureaucracy: 第一線官僚制）の視点から、市民と行政組織・制度、公的権威と資源への理解や見方を問い、受験者がどのように社会や世界を見ているかを確認する。